

デジタル化により破壊的変化が予測される2019年ヘルスケア市場の展望

- 2019年にはデジタルヘルスが成熟し始め、ヘルスケア業界に破壊的変化が訪れるとフロスト&サリバンは予測します。小売、IT、ヘルスケアを隔てていた業界の垣根が消えゆく中で、西のGAFA（Google、Apple、Facebook、Amazon）、東のBAT（Baidu、Alibaba、Tencent）が個別ケアの分野を席卷し始めるでしょう。
- 新たにエコシステムに参加するプレイヤーが増えるにつれて、人工知能（AI）と医師、消費者用と臨床用、人間性と機械の知性の対立をめぐる議論が過熱していきます。
- 「治療結果（アウトカム）に基づく医療」が世界で勢いを増し、2019年はバリューベースヘルスケアの年になると予想されます。

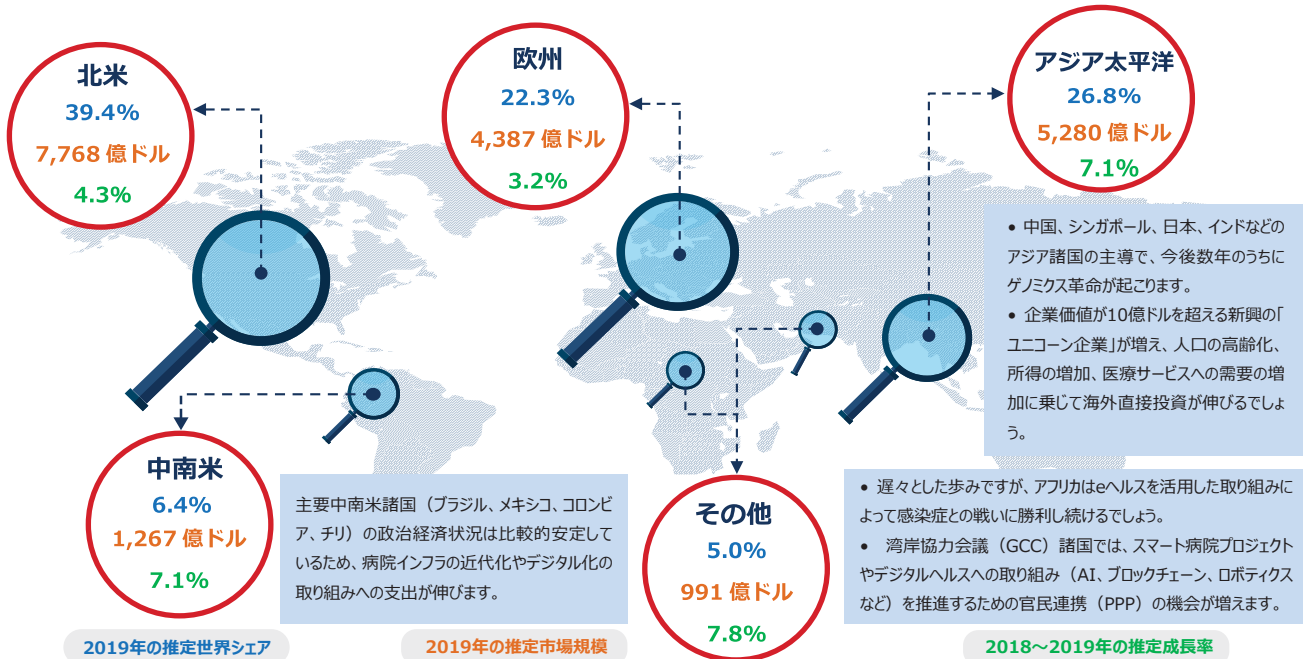
| | | | | | | | |
|---|--------------|---|-------------------|---|-----------------------|---|-----------------------------|
| 1 | サービス化 (XaaS) | 2 | ウーバー化 (オンデマンドヘルス) | 3 | アマゾン化 (デジタルマーケットプレイス) | 4 | シェアリングエコノミー (クラウドソーシング、P2P) |
|---|--------------|---|-------------------|---|-----------------------|---|-----------------------------|

2019年のグローバルヘルスケアの予測

| | | | |
|--|--|--|---|
| <p>治療結果に基づく医療が勢いを増し、バリューベースヘルスケアが進展する</p>  <p>予測 1</p> <p>2019年末には、世界の医療費の最大15%が何らかの形でバリューベース/治療結果ベースの医療に関連したものととなります。</p> | <p>ヘルスケアとライフサイエンスでAIの利用が広まり、良好な成果をもたらす</p>  <p>予測 2</p> <p>ヘルスケアIT用途のAI市場は2019年末には17億ドルを超えます。特定の医療ワークフローでAIプラットフォームを運用することによって、今後2、3年のうちに生産性が10～15%高まるでしょう。</p> | <p>個別ケアが重視され、デジタルヘルスが成熟していく</p>  <p>予測 3</p> <p>2019年には院外の状況に対応するデジタルヘルスの市場が30%成長し、世界市場は250億ドルを超えると見込まれます。</p> | <p>世界の製薬/医療機器メーカーはアジアに合わせてイノベーションを進める</p>  <p>予測 4</p> <p>製薬/医療機器メーカーの医療研究開発費の最大10%が、アジアをはじめとする新興国でのイノベーションに使われると予想されます。</p> |
| <p>医療データ分析の焦点は、ビッグデータから専門病院が持つ意味のあるスモールデータへと移行する</p>  <p>予測 5</p> <p>2019年末にはヘルスケア企業の半数が実際の医学的証拠を評価、共有、分析するためのリソースを保持し、全社で活用していると推定されます。</p> | <p>ヘルスケアは音声アプリケーションを活用する主要産業となる</p>  <p>予測 6</p> <p>巨大テクノロジー企業が音声ソリューション分野で激しい競争を繰り広げるのに伴って、2019年にはHIPAA法に準拠した医療用音声/チャットアプリケーションが注目を集めるでしょう。</p> | <p>ブロックチェーンは喧伝から現実になり、商業化が始まる</p>  <p>予測 7</p> <p>2019年末にはヘルスケア分野の企業用ブロックチェーンの5～10%が、試験段階から部分的/限定的商業化へ移行すると見込まれます。</p> | <p>革新的な民間保険モデルが医療保険者業界を揺るがす</p>  <p>予測 8</p> <p>2019年末には、医療保険プランの5～10%が何らかの形でライフスタイルや健康データに連動したものととなります。</p> |

2019年の各地域のヘルスケア市場に関する予測

2019年、グローバルヘルスケア市場は前年比5.1%で安定した成長をとげ、同市場規模は1兆9,600億米ドルに到達することが予測されます。アジア、アフリカ、東欧の新興国で予定されている選挙では、どのようにして手頃な価格で高品質な医療を提供するかが重要な政治課題となるでしょう。新興市場は高成長の機会に満ちていることから、製品の開発と地理的展開をめぐるパラダイムが大きく変わるだろうとフロスト&サリバンは予測しています。



2019年の推定世界シェア

2019年の推定市場規模

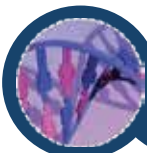
2018~2019年の推定成長率

製薬／バイオテクノロジー市場の成長機会



細胞療法は再生医療市場で大半のシェアを占め、2025年には82億ドルに達すると予想されます。画期的なCAR-T細胞療法や併用療法によって、使い捨てモジュール製造技術の導入をめぐる機会が生まれています。

再生医療：細胞療法



アンチエイジング市場は2022年には855億5,000万ドルに達すると予想されます。老化関連の研究開発に焦点を当てた革新的なAIとディープラーニングに基づくアプリケーションを提供している企業は、製品の上市に成功を遂げよう。

加齢関連疾患へのデジタルソリューション



患者中心の医療が重視される中で、2019年、ライフサイエンス業界は遠隔地からの調査研究（仮想臨床試験）に優先的に投資するでしょう。今後12~18か月のうちに、大規模な新薬臨床試験の18%~20%が何らかの形で遠隔/仮想の患者モニタリングを採用すると見込まれます。

仮想臨床試験

医療技術市場の成長機会



整形外科用のウェアラブルを利用することによって、今後12~18か月のうちに米国だけで再入院と手術後の来院を3~5%減らし、関節置換手術にかかる年間費用およそ10~13億ドルを節約できる可能性があります。

整形外科臨床ウェアラブル



手術室で拡張現実（AR）を活用することによって、リアルタイムの外科手術支援を得て、臨床効率を高められる可能性が開けます。今後1、2年のうちに手術室の少なくとも5~10%で採用されると予想されます。

手術室における拡張現実



2019年には米国、欧州、日本、一部の中東諸国の大規模病院のうち8~10%が、無人搬送車（AGV）や自律移動ロボット（AMR）とともに、AIを活用したスマートコンベヤシステムを利用すると見込まれます。これによって、滅菌処理や生物医学部門の手作業のワークフローを効率化することを目指しています。

病院のオートメーション

体外診断用医薬品市場の成長機会



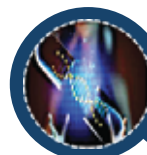
臨床医は早期がんの検診にリキッドバイオプシーを利用して有望な結果を得ています。2019年の米国におけるリキッドバイオプシー市場は1,000億ドルを超えるでしょう。一部の医療用イメージング機器に取って代わる可能性があるため、投資家の人気を集めています。

リキッドバイオプシー



医療機関を通さない遺伝子検査サービスは年間22.2%成長し、2019年には12億ドルに達すると見込まれます。ここ数年で簡易診療所や予約なしの診療所が着実に増えており、ラボ業務の分散化の傾向が見て取れます。

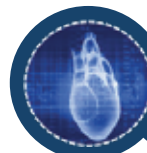
D2C遺伝子検査



現在30億ドルのコンパニオン診断市場は2025年には60億ドルに成長すると予想されます。AIベースのソフトウェアは、特定の集団の中から薬剤が効く患者を見出すためのツールとして注目を集めています。

コンパニオン診断

医療用イメージング市場の成長機会



冠動脈CT血管造影法では冠動脈の画像解像度が高く（0.6ミリ）、スキャンにかかる時間も短いため、心筋梗塞の相対的リスクが31~50%減少することがわかっています。2019年の主要イメージング市場では、侵襲的冠動脈造影法（ICA）を行う前のテストとして利用されるようになるでしょう。

冠動脈CT血管造影法（CCTA）



2019年、画像誘導療法（IGT）はがん治療においてますます活用されるようになるでしょう。IGT分野は進化を続けて、治療計画、治療反応性評価、局所治療、標的治療・薬物送達に関して大きな技術的進歩を遂げるはず です。

画像誘導療法



2019年には複数の機器や専門分野をサポートするエンタープライズイメージング（EI）が脚光を浴び、臨床イメージングプラットフォームの主流になるでしょう。EI戦略によってベンダーニュートラルアーカイブ（VNA）の採用が進む一方で、電子カルテ（EHR）ベンダーはユニバーサルビューイングを活用していくと見られます。

エンタープライズイメージング